

雪まるかじりツアー

～がちんこ！雪合戦！！コース～

1月4日（日） ～ 1月6日（火）

IN 兵庫県立兔和野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション	作戦会議
2日目	がちんこ雪合戦①	がちんこ雪合戦②	キャンドルファイア
3日目	片付け・ソリ滑り	施設を出発・解散	

一日目： 元気な挨拶からキャンプがスタートしました。行きのバスからとても賑やかでグループの友達ともすぐに打ち解けていました。施設に到着し、お弁当を食べ、早速外に出るための準備に取り掛かりました。時間がかかりながらも準備を済ませ出発しました。雪合戦を行う場所までは足跡一つない雪景色。自分達で道をつくるところからスタートしました。ふかふかの雪に足をとられ転ぶことも楽しいようで、走り回ったり、寝転がったりしながら全身で雪を感じていました。雪が踏み固まったら、グループごとにシェルター（雪の壁）を作りました。しゃがんで身を隠すことのできる大きさが必要と聞き、必死に雪を集め、積み上げ固めていました。グループのメンバー同士で名前を呼び、声を掛け合う姿も見られ、一緒に戦うグループという意識が一気に高まったようでした。施設へ戻り夕食後は、明日から行う『がちんこ雪合戦』のルール説明と作戦タイムです。難しいルールが多かったり、なかなかイメージが湧かなかつたりという場面もありましたが、経験者や高学年が中心となり話し合いを進めていました。



二日目： いよいよ決戦の日！外は雪景色ですが、太陽が顔をだしてもいい天気です。雪を踏み固めた場所へ移動し、シェルターづくりや雪合戦になくはならない雪玉づくりを始めました。準備が全て整うと雪合戦の開幕です。最初は雪玉を投げる、避けることに必死でしたが、回数を重ねるにつれポジションの役割や勝つ為の方法、負けた原因を考える姿が見られました。体以上に頭を使うスポーツということが分かったと、休憩中も自然とグループで集まり雪玉をつくったり、再度作戦を話し合ったりされていました。午後からも白熱した試合は続き、より一層盛り上がりました。終盤に向けて、他のグループを応援したり、雪玉をおすそ分けしたり、グループの枠を越えた助け合いがあり雪合戦キャンプとしての一体感が見られました。全試合を終え、最後はお楽しみ試合！リーダーチームとの試合や全員参加の試合など、最後まで時間いっぱい楽しみました。そしてキャンプ最後の夜は、みんなでキャンドルファイア！みんなテンションが高く、最後まで大盛り上がりでした。



三日目： 目を覚ますとともに身支度を始め、シーツや布団も協力してテキパキ畳み、朝食へと向かいました。施設の清掃では、一人一人が自ら進んで取り組まれました。三日目ともなると、準備に時間がかからなくなり予定より早くソリ遊びが始まりました。上手な乗り方を教わり意気込んでソリ場へ向かいましたが、想像以上の斜面に驚きを隠せない様子でした。しかし一度滑ると、恐さもなくなり何度も何度も挑戦していました。ソリ遊び後、シェルターを壊し、撤収しました。最後の昼食を済ませ、順位発表！負けたグループはととても悔しそうでしたが、優勝グループに拍手を送り「来年は優勝する！」と意気込んでおられました。施設にお礼を言い、バスに乗り込みました。帰りも車内は賑やかで、最後まで友達と楽しんでおられました。



<キャンプ総括>

雪合戦というスポーツを通して、一人一人が自分の全力を尽くし、個々の力をグループの力にすることがこのキャンプの目標でした。雪合戦の作戦会議では、どのグループも真剣に話し合われ、友達の良さ、自分の良さを認め合いグループとして戦っていかこうとする姿が見受けられました。その結果、各々の力が発揮され、グループ全員で戦うことができていました。一人一人考えや動きが違うからこそ協力する難しさを感じ、個々の力を集めると大きな力になることに気付けたのではないのでしょうか？このキャンプで感じた大きな力を得ることの難しさ、そして大切さを日々の生活にも活かしてほしいです。
(大和 詩穂)